



格闘するケベスとトウバ



燃え盛るシダを棒でかきまわすケベス



火の粉をまき散らしながら参拝客を追いかけるトウバ

国見町

### 天下の奇祭 ケベス祭り

起源や由来は謎に包まれた奇祭「ケベス祭り」（国選択無形民俗文化財）が10月14日(土)の夜、国見町榎来の岩倉社で行われました。

ケベス祭りは、奇妙な面を着けた「ケベス」と、守り神である白装束の「トウバ」とが争う火祭りで、「ケベス」の火は「除災招福」の清めで、この火の粉をかぶると1年間無病息災といわれています。

炎に突進するケベスと、炎を守るトウバの格闘が数回繰り返され後、ケベスが炎に飛び込み、燃え盛るシダを棒でまき散らすと、トウバも燃えるシダの束を棒の先に刺して境内を暴れまわり祭りは最高潮に。境内は、トウバから逃げ回る参拝客の悲鳴と火の粉に包まれました。



両手に持った笹竹で熱湯を参拝者や自身の裸体に浴びせ掛ける「湯立神楽」



多くの神楽ファンが訪れ、演目が終わるたびに大きな拍手を送りました

国見町

### 第4回仏の里東国東神楽大会

10月9日(月)国見町竹田津の武多都社境内で、第4回仏の里東国東神楽大会が開催されました。市内の武多都神楽（国見町）、国東神楽（国東町）、手野神楽（武蔵町）、富永神楽（安岐町）と山香湯立神楽（杵築市山香町）、長浜神楽（大分市）が共演。それぞれの地域に伝わる伝統の神楽を披露し、市内外から訪れた多くの観客を魅了しました。